

病虫害

防除だより

No. 389

令和8年7月27日

斑点米カメムシ類依然多し、生育に合わせた適期防除を!!

早生水稲(出穂期)のすくい取り調査(7/15～21)を行ったところ、
 好天が続き気温も高く推移したことから、**平年・前年より多く、
 調査開始以降※、過去最も多い結果となりました。**※平成12年～

最も多いのはアカスジカスミカメなどのカスミカメムシ類ですが、
 吸汁能力が高く登熟後半まで加害可能なホソハリカメムシやシラホシ
 カメムシ類も平年の2～3倍と多く注意が必要です。

今後1か月の気象も、気温が高く晴れの日が続きカメムシ類の活動
 に好適であることや、移植時期の早いものを中心に中晩生以降の出穂
 も早まっている傾向もみられるため、生育ステージの確認を行い適期
 防除を徹底しましょう。

1 防除対策

- ・出穂期以降の草刈りはカメムシ類の水田内への侵入を助長する
 ので行わない。
- ・水田内のイネ科雑草やホタルイが多い圃場では、斑点米の発生
 が多くなるため、除草を徹底する。
- ・生育ステージの確認を行い、適期防除を徹底する。

2 防除適期

《粉・液剤での防除》

- ・**穂前期～乳熟期(出穂3～5日後頃)**と**糊熟初期(出穂10～14日後頃)**の**2回薬剤散布**を行う。
- ・斑点米カメムシ類は、日中はあまり活動しないため、夕方が早朝に薬剤散布を行う。

《粒剤での防除》

- ・粒剤での防除は、薬剤によって散布時期が異なるので注意する。
- ・散布時は水深3cm程度の湛水状態とし、3～4日湛水した後、自然落水する。

《追加防除》

- ・薬剤散布後も水田内に斑点米カメムシ類の発生が多い場合は、追加防除を行う。
 但し、**農薬使用基準(使用時期・使用回数等)**に留意し、周辺居住者等への事前周知
 および飛越防止に努める。

◎ 防除対策の詳細は、令和8年度福井県農作物病虫害防除指針を参照。

福井県農作物病虫害防除指針 I 水稻編



トゲシラホシカメムシ



ホソハリカメムシ



アカスジカスミカメ



クモヘリカメムシ



イネカメムシ



ミナミアオカメムシ



※近年、発生が確認されたカメムシ

◇◇◇ 最新の農薬登録情報(<https://pesticide.maff.go.jp>)を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病虫害防除室

連絡先: 0776(54)9315

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/bouijo.html>

二次元コードをスキャンしてください→

福井県病虫害防除室



農薬の安全使用に努めて適期防除しましょう